

Romui 飯室の逆さ読みから名付けた

廃線になった可部線の旧安芸飯室駅を利用し、8年前
野菜・雑貨の販売を始め、カフェをオープンした。

今年は8/1~8/7 丸木位里展を開催

「被爆ピアノ」と丸木位里」

丸木位里について (1901~1995)

1901年、安佐郡飯室村に生まれ、画家を目指して上京する。1923年、関東大震災を機に帰郷する。再び上京し、水墨画家として抽象的な手法を使い、前衛的な作品を創作する。1941年、赤松俊子と結婚し、1945年の原爆投下後、「原爆の囀」15部作を手掛ける。

飯室の3ヶ寺には位里・俊の襷絵が現存する。



幽霊 幽霊の行列のようだと表現している。



母子像 母親がしっかり子供を抱いて亡くなっている
埼玉県東松山市にある丸木美術館から
レプリカを3点レンタルし、展示



焼津 日本人は3度原子爆の犠牲になったと記されている。



位里さんの作品
(個人所蔵)
飯室には位里が描いた作品が残っている。

被爆ピアノの演奏会 (矢川さんの所有のピアノ)

被爆ピアノとは・・・1945年の原子爆弾で被爆したピアノ。2016年現在、現存しているのは11台



プログラム

8/1	歌、演奏	花咲じしばば
8/2	被爆ピアノ	小学生/ピアノ講師
8/3	紙芝居	紙芝居村:阿部・宇佐美
8/4	被爆体験談	花谷
8/5	伝承講話・ピアノ	青木/勝田・小田&藤岡/コーラス
8/6	ワークショップ	広大生による水墨画
8/7	ピアノ	アンサンブル花音/山崎 順子/向井・梅川



反省点・・・7日は観客者が多すぎて身動きできなかった。屋外にもテントを張るべきだった。斉藤国土交通大臣にも来て頂いていたが、ごった返していて会場の設営に不備があった。

ピアノを弾ける小学生が少なく、中学、高校生を集める事ができなかった。

良かった点・・・清和中学校の先生が連弾し、生徒も駆けつけしてくれ、盛り上がった。紙芝居村のパフォーマンスは感動的だった。思わず目頭が熱くなった。

応援して下さいましたの方々に感謝しています。

Romui での平和活動はこれからも続けていきます。